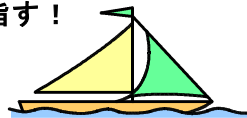


学校教育目標 「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」の育成を目指す！



①求めて学ぶ生徒 ②心を高める生徒 ③たくましい生徒

小値賀物語3 第28話



令和5年1月17日発行

小値賀町立小値賀中学校 校長 池田英二

がんばれ！受験生！！

1月11日（水）～12日（木）に、実力テストがありました。1・2年生は昨年度から町に導入していただいた「標準学力テスト」を、3年生は入試を想定した「プレ入試」を実施しました。そして遂に先日から県立特別支援学校、私立高等学校、陸自工科学校の入試が始まりました。また公立高校の後期選抜学力検査は、3月7日（火）～8日（水）に実施されます。この日のために一生懸命努力してきた3年生には、入試で実力を十分に発揮してほしいです。3年生15名は、これから歩いていく道を決めるために受験（受検）に挑んでいきます。



私は、9年間の義務教育の出口は、3月14日（火）の卒業式ではなく、15名の生徒の進路実現だと思っています。希望する高校に進学することが着地点です。泣いても笑っても入学者選抜試験はやってきます。「人事を尽くして天命を待つ」という言葉があります。受験生としてできる限りのことをして、その上で結果は天命に任せるといえる意味になると思います。努力なき者に天は微笑んでくれません。今努力してしっかりとした学力をつけることが高校に入学してからの生活に直結します。3年生の皆さんには、今頑張ることが今後の人生につながることを信じて、最後の最後まであきらめない努力を期待しています。

3年生の保護者の皆様の中には、お子様のことで今ピリピリされている方もいらっしゃるかもしれませんが、子どもたちが全力で試験に挑めるように、ご家庭でのサポートをよろしくお願いいたします。受験（受検）に臨む子どもたちには、受験前の「励ましの言葉」と、受験当日朝の「笑顔の送り出し」をお願いします。私たち教職員も、3年生の生徒たちが全力で頑張ることを信じ、これからもエールを送り続けたいと思います。

全校書初め（1月11日水曜日）6校時

6校時に、全校書初めが実施されました。目的は、「①新年にあたり、抱負となる言葉を自らの書にあらわすことで、決意を新たにし、自覚を深める。②毛筆を用いて、字形を変えながら、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書くことに慣れ親しむ。」です。本年度は、ゲストティーチャーとして、山本香代子先生をお迎えしてご指導をいただきました。生徒一人ひとりに細やかなご指導とお声掛けをいただき大変ありがとうございました。全校生徒が新年の決意を新たに、真剣な表情で書初めに臨んでいました。



生徒会役員任命式・生徒会引継式（1月10日火曜日）

生徒会役員任命式が実施されました。昨年末に行われた生徒会役員選挙で決定した生徒会長、生徒会副会長、生徒会庶務と学芸委員長、厚生委員長に校長が任命状を手渡しました。引継式も滞りなく終わり、新しい生徒会組織での活動が始まります。会長を中心に、小値賀中学校をさらに素晴らしい学校に築きあげてくれるものと期待しています。

【生徒会三役&専門委員長】

- 生徒会長 : 2年生 中野 友稀君
- 生徒会副会長 : 2年生 新田 結月さん
- 生徒会庶務 : 1年生 板橋 煌太君
- 学芸委員長 : 2年生 横尾 誠悟君
- 厚生委員長 : 2年生 橋本 結衣さん



学級役員任命式（1月12日木曜日）

先日任命しました3学期の学級役員の紹介です。

- 1年 総務：川端 勇翔君 小崎 愛音さん 学芸部長：神崎 茉実さん 厚生部長：濱田 舞桜さん
 - 2年 総務：岩坪 優人君 藤永 かのりさん 学芸部長：田川 日夏乃さん 厚生部長：小崎 琴音さん
 - 3年 総務：内野 七海さん 柴田 愛莉君 学芸部長：井上 かずささん 厚生部長：日高 共絆君
- 学級の代表として3学期間よろしくお願いいたします。

※裏面には、学校評価アンケートの「結果」「成果と課題」「今後の取組」についてお知らせいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。より良い学校づくりに生かしていきます。

1 令和4年度 小値賀中学校 12月 学校評価アンケート結果										
評価項目	NO	評価内容	生徒	保護者	教員	地域	平均			
1 総論	1	学校は、学校教育目標に近づくように努力している。	2.92	3.16	3.38	3.41	3.22			
	2	学校は、小学校・高校と協力し、一貫教育を進めている。	3.42	3.19	3.21	3.54	3.34			
	3	学校の様子は、学校だよりやホームページ等でよくわかる。	3.31	3.16	3.50	3.66	3.41			
	4	学校は、家庭との連携を図ろうと努力している。	3.05	3.14	3.57	3.18	3.24			
	5	学校は、地域の行事に協力的である。	3.19	3.22	3.50		3.30			
	6	生徒は、生徒会活動や学級の係活動に積極的に取り組んでいる。	3.33	3.24	3.50		3.36			
	7	生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	3.36	3.30	3.21	3.33	3.30			
	8	生徒は、地域の行事によく参加する。	2.77	2.89	3.36		3.01			
	9	保護者は、PTA活動に協力的である。	3.21	2.86	3.36		3.14			
2 学力の向上	10	学校は、授業をわかりやすく行うように工夫改善に努めている。	3.56	3.16	3.64	3.33	3.42			
	11	学校は、一人ひとりの能力や理解度に応じた指導を心がけている。	3.33	3.08	3.50		3.30			
	12	生徒は、意欲的、計画的に学習に取り組んでいる。	3.00	2.92	3.07		3.00			
3 心の教育の充実	13	学校は、小値賀を愛する心や思いやりの心の育成に力を入れている。	3.36	3.19	3.46	3.33	3.34			
	14	学校は、生徒の悩み等を知り、その解決に適切に対応している。	3.03	3.14	3.50		3.22			
	15	学校は、美しい学校環境づくりに努力している。	3.31	3.16	3.14		3.20			
	16	生徒は、毎日楽しく登校している。	3.11	3.32	3.00		3.15			
4 生活規律の順守	17	学校は、規則正しい生活について適切に指導している。	3.33	3.16	3.50	3.41	3.35			
	18	学校は、あいさつ・返事・言葉遣いの指導を適切に行っている。	3.61	3.16	3.50	3.41	3.42			
	19	生徒は、生徒心得を守り、中学生らしい服装や頭髪に心がけている。	3.56	3.24	3.57		3.46			
	20	生徒は、進んで家族や友達、地域、先生等によくあいさつをしている。	3.17	3.08	2.86		3.03			
		3.5ポイント以上	3.0ポイント未満							
					令和4年12月	3.25	3.14	3.37	3.40	3.29
					令和3年12月	3.23	3.29	3.28	3.39	3.30
					比較	0.01	-0.15	0.09	0.01	-0.01
					100点満点換算	81.15	78.48	84.18	85.02	82.21

2 成果と課題	
【生徒評価】	○「学校は、授業をわかりやすく行うように工夫改善に努めている」という項目が高い。 ○「学校は、あいさつ・返事・言葉遣いの指導を適切に行っている」「生徒は、生徒心得を守り、中学生らしい服装や頭髪に心がけている」という項目が高く、規律正しい生活ができていると考えられる。
【保護者評価】	△生徒の地域行事への参加やPTA活動への協力の項目が低い。コロナ禍にあり、地域行事参加への心配や不安があるものと考えられる。PTA活動については参加しやすい活動を取り入れる等、活動の幅を広げる必要がある。 △「生徒は、意欲的、計画的に学習に取り組んでいる」という項目が低い。生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう指導を継続していく。
【教員評価】	○全体的に高い評価となっている。 △「学校は、生徒の悩み等を知り、その解決に適切に対応している」という項目で教員は高い値となっているが、生徒評価においては低い傾向にあり、認識のずれが生じている。今後はさらにきめ細やかな対応を心がけたい。
【地域評価】	○「学校は、小学校・高校と協力し、一貫教育を進めている」「学校の様子は、学校だよりやホームページ等でよくわかる」という項目が高い。今後もなお一層、小中高一貫教育の推進と細やかな情報発信を行っていく。

3 評価を受けての今後の取組	
【総論について】	教員が日頃の授業や学校生活指導、行事等において学校教育目標との関連への意識を高くもち、生徒へ伝えることを増やしていきたい。また、行事の実施要項作成においては、目的に学校教育目標との関連を明記し、全職員で共通理解を図りたい。 生徒の地域の行事への参加については、学校において地域行事を紹介したり、小値賀史学等において地域の伝統行事を学習する場を設ける等の取組において、地域社会の一員としての参画意識を高めたい。また、併せて新型コロナウイルス感染症防止の方法を学校行事等を通して伝えていきたい。
【学力向上については】	保護者のPTA活動への参加については、PTA行事へ参加できなかったかできなかったかによる評価になっていると考えられることから、あいさつ運動や見守り活動等を取り入れるなどPTA活動の幅を広げていきたい。
【主体的、対話的で深い学び】	「主体的、対話的で深い学び」の授業実践をなお一層進めていく。その結果、主体的に学習に取り組む生徒を育て、家庭学習にも主体的に取り組むようになり、学力を向上させていきたい。
【心の教育について】	生徒たちは様々な問題を抱えていたり、様々な悩みを抱えている。また、本校ではふるさと留学生制度により、複数の生徒が親元を離れ寮生活を送っている。生徒と教員のコミュニケーションをしっかりととり、なお一層の深い信頼関係を築いていきたい。また、気軽に相談できる体制づくりも行っていく。
【生活規律の遵守について】	生徒のあいさつについては、生徒会活動、PTA活動と連携させていきたい。教員においては「率先垂範」の意識を高くもち、元気のよい気持ちのよいあいさつの手本を示していきたい。